

## 沙流太ほおずき絆の会と富川高校生が定植作業を実施

食用ほおずきの生産・加工・販売による地域振興に取り組んでいる「沙流太ほおずき絆の会」は、5月20日に富川高校生16名とともに苗の定植作業を行いました。

高校生達は、最初に「沙流太ほおずき絆の会」と普及センターから定植方法と作業手順についての説明を受け、会員からの指導を受けながら定植・支柱立て・茎と支柱をひもで結ぶ・かん水の各作業を行いました。

今後は、富川高校生が参加しての花弁除去および収穫作業のほか、販売PR活動を予定しています。普及センターでは関係機関と連携し、地域特産品としての発展を目指して販路拡大や加工品開発等の取り組みを支援します。

(執筆者：主査（高付加価値化）後藤 昌人)



定植作業の説明を行う  
福原比奈子専門主任（左）



定植作業を行う富川高校生